

進む！ まいる！

市政の
話題を紹介

市長からの
メッセージ



暑い毎日です。熱中症にはくれぐれもご用心ください。
さて、海水浴や旬の味覚を楽しむ観光客、帰省客の皆さんでにぎわっている夏の舞鶴市。「一度は訪れてみたい、何度でも帰ってきたい」そう思っただけの唯一無二のまちの魅力は人の力で磨かれるものです。

TOPIC① 舞鶴青年会議所創立70周年記念式典 6/21 活気あるまちづくり

舞鶴青年会議所の創立70周年記念式典が開催されました。同団体は、昭和31年の創立から現在に至るまで、青少年の育成や地域のにぎわいづくりに取り組まれています。式典では、市長がその功績に感謝するとともに、今後のさらなるまちの発展に期待する熱い思いを語りました。これからも活力あるまちづくりに向けて、柔軟な発想と情熱をもって共に取り組んでいきます。



TOPIC③ 中舞鶴小学校創立150周年記念式典 6/27 地域とともに150年 未来をつなぐ

中総合会館で、中舞鶴小学校創立150周年を記念した式典が開催されました。海上自衛隊舞鶴音楽隊の迫力ある演奏がオープニングを飾り、記念動画の上映のほか、児童による歌や劇の発表が行われました。式典では、児童や保護者が一堂に会し、地域の絆の大切さを再確認する機会となりました。



TOPIC⑥ 7/8 大阪観光局との連携協定式 舞鶴の食文化を世界へ

大阪観光局と「食」に関する取り組みを相互にPRする連携協定を締結しました。今後は、大阪や丹波篠山(兵庫県)と「食」をテーマに、にぎわい創出を目指す「美食街道」構想に取り組み、舞鶴の海の幸をはじめとする食文化や新たな観光ルートを国内外へ発信することにより、交流

TOPIC② XR (クロスリアリティ)体験会 6/25 まちづくりに最新技術を

XR技術は、ゴーグルを通して建設前の建物の完成イメージを映し出すなど、今後のまちづくりに役立つ可能性を秘めています。今回は、その技術を研究している産業技術総合研究所「拡張体験デザイン協会」の協力のもと、市職員がXR技術を体験しました。

舞鶴市はこうした新技術を積極的に取り入れ、より便利で魅力的なまちを目指します。



TOPIC④ 海上保安学校「五森祭」 7/5 海保の魅力を体感

毎年恒例、海上保安学校の学校祭「五森祭」が今年も開催され、市内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。当日は校内や練習船「こじま」の一般公開、音楽隊による演奏などが行われ、参加者は、普段見ることのできない学校の魅力を存分に満喫。近い将来、海の安全を守る一員となる学生たちの笑顔と熱気を感じられる一日となりました。



人口の拡大と地域活性化を目指していきます。



笑いで地元を元気に！

Q. これまでの活動について教えてください。

芸人を目指して20歳で上京。当時は家賃2万6千円の風呂なしのアパートに暮らし、コツコツとアルバイトをしながら、毎月ライブハウスのお笑いライブに出演する日々でした。
そんな中、コント赤信号の渡辺正行さんに声をかけていただきホリプロの所属となりました。そこから『ボキャブラ天国』や『ダウンタウンのガキ



▲ラジオへの出演（さがねさん提供）

の使いやあらへんで！』といったバラエティ番組の他、ドラマやラジオなどにも出演し、活動の幅を広げていきました。



お笑い芸人
バツグン
X-GUN さがね正裕さん
芸能界の第一線で36年間活躍してきた舞鶴市出身のさがね正裕さん。今月から、拠点を舞鶴へ移し、新たな活動を開始されます。舞鶴への思いや、今後の夢について伺いました。

ここ2年ほどは、舞台や映画、芝居を中心に活動しています。

Q. 舞鶴に戻ってこれるきっかけは何ですか？

主な理由は、両親の介護です。これまで父の生活をサポートしていた母が自転車で転倒し、足を骨折して入院しました。一度は回復し退院したものの、3日後に今度は反対側の足を骨折し、再度、入院することとなりました。

この時「自分が舞鶴に戻って、しっかり親の面倒を見よう」と決意しました。

Q. 今の舞鶴の姿は、さがねさんの目にはどのようなに映っていますか？

毎年、盆や正月には必ず舞鶴に帰省しています。そしていつも駅から実家まで、思い出しに浸りながら歩いて帰っています。年々、シャッター街と化していく商店街や、懐かしい建物がマンシヨンやアパートに建て替えられ

ていく様子を見ては胸を痛めています。すれ違う人もほとんどおらず、中学・高校時代の活気あふれる舞鶴の面影が薄れていくのが、本当に寂しかったです。

そんな中、今年初めて「MAIZURU PLAYBACK FES. 2026」に参加しました。自分が育ったこのまちに、これだけの豪華なアーティストが集結して、ものすごい規模のフェスが開催されていることに本当に感動しました。「熱意を持って本気で動けば、こんなにスゴイことができるんだ」と勇気をもらいましたね。

Q. 新しく挑戦したい「夢」があると聞きしました

はい。舞鶴から芸能の世界を目指す環境を作ることです。若い世代が「アイドルになりたい」「役者やお笑い芸人、ミュージシャンになりたい」と思った時、ほとんどの人が高校を卒業し、大阪や東京に出て行ってしま



▲インタビュー時に夢を語るさがねさん

ます。だから、舞鶴にいても芸能の世界を目指す「エンターテインメントの学校」を自分で作りたいと考えています。吉本興業という「NSC」のようなイメージですね。お笑いだけでなく、歌や芝居、アイドルなど、すべての芸能を学べる場所です。さらに、レッスンだけでなく、成果を発表できる100〜150人規模の「ライブ小屋（劇場）」も一緒に作りたいと考えています。

36年間、お笑いの世界で培ってきた自分の経験やコネクションを生かして、舞鶴の若い世代にチャンスを提供する活動をしていきたいです。